

令和8年7月栃木市教育委員会定例会会議録

令和8年7月栃木市教育委員会定例会を、令和8年7月22日栃木市役所に招集した。

1 本委員会の出席者は、次のとおり

青木 千津子教育長 上野 耕史職務代理者 五十嵐 幸男委員 西脇 はるみ委員
大塚 裕子委員 舘野 知美委員 岩崎 好宏委員

2 本委員会の欠席委員は、なし

3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり

教 育 次 長	五 十 畑 肇
教 育 総 務 課 長	飯 島 彰
教育総務課学校再編推進室長	岩 崎 和 隆
学 校 教 育 課 長	宮 堀 純 也
学校教育課グローバル教育推進室長	古 橋 奈 美
学 校 施 設 課 長	佐 藤 賢 一
保 健 給 食 課 長	寺 内 晴 子
生 涯 学 習 課 長	長 澤 紀 恵
文 化 課 長	横 倉 悟 史
美 術 ・ 文 学 館 課 長	高 久 一 典
教 育 総 務 課 主 幹	橋 本 晃 輔
学校教育課課長補佐	井 口 美 香 子
学 校 教 育 課 副 主 幹	黒 川 真 理 子
教科書選定委員会委員長	島 田 芳 行

4 本委員会の署名委員は、次のとおり

舘野 知美 委員

5 本委員会の書記は、次のとおり

教育総務課 橋本 汐里

6 本委員会の会議案件は、次のとおり

日程第 1 会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議事

議案第 33 号 令和 9 年度使用栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について

協議第 7 号 栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 34 号 令和 8 年度（令和 7 年度事業対象）教育委員会点検・評価報告書について

議案第 35 号 栃木市立小中学校適正配置計画の策定について

議案第 36 号 栃木市立学校職員服務規程の一部を改正する規程の制定について

議案第 37 号 栃木市文化財保護審議会委員の委嘱について

日程第 4 その他

《会 議》

教 育 長

— 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長

日程第1 会議録の承認についてでございます。6月定例会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へ配付させていただいたとおりでございます。ご質問ご意見等がございますでしょうか。

— なしの声 —

教 育 長

それでは、会議録への署名を大塚委員にお願いいたします。

教 育 長

次に、日程第2 教育長報告でございます。

— 7月栃木市定例校長会の資料に基づき説明 —

1 はじめに

2 6月の収穫より

(1)【共同訪問】を通して（赤津小学校6/12）

○学校経営理念の根幹に関わることについて

- ・「教職員が互いを認め合う風土や感謝を伝え合うことを大切にし、笑顔で勤務できること。教職員の心のゆとり、自然な笑顔が、児童の学校での安心感や笑顔につながることを意識する」の具現化がしっかりと図られていること

○危機管理、安全管理について

- ・コンプライアンス・アクションシートを教職員全員で作成
→常時意識できる場所に掲示
- ・月初めの安全点検を3～4名のグループでローテーション制を敷き工具セット持参で実施
- ・避難訓練（火災、大地震、竜巻）、引き渡し訓練を毎年複数回実施

○その他

- ・特色ある教育活動として、赤津川周辺での探鳥活動を全学年で実施
- ・学校課題である「話し合う力を高める学習指導」の一環として、『コミュニケーションあいうえお』『よりよい話し合いモデル』等を日常的に掲示・活用

(2)【内外教育（第7326号）】より

「“効率化”の先にあるもの」

独立総合教育政策研究所所長 安部慎也 氏

3 “フル回転の季節”から“実りの秋”への橋渡しの時期にお願いしたいこと

(1) 新たな不登校等の未然防止に特段の配慮を

※運動会や修学旅行、校外学習等様々な教育活動を通して、多くの子どもたちが生き生きと活動的に学校生活を送る中、その勢いに乗れない子どもの存在も気になるところかと。是非とも、一人ひとりの小さな変化を見落とすことなく、きめ細やかな対応をお願いしたい。特に、夏季休業開けの不登校が懸念されることから、休業中の気になる子への働きかけに留意いただきたい。

(2) 児童生徒指導上の問題に係る“今どきの”保護者対応への備えを

※児童生徒指導の諸課題解決のキーポイントは何と言っても初期対応。改

めて＜初期対応３原則＞の徹底を図っていただきたい。その上で、昨今急増傾向にある「弁護士を代理人とした訴え」への対応に備え、「事実確認」の重要性について心に留め置かれたい。

＜初期対応３原則＞

- ・迅速で適切な対応（スピード感）
- ・よくない情報ほどいち早く報告・共有・体制構築（危機感）
- ・丁寧な対応（誠意）

（３）全速力で走りぬいた一学期。先生方の心と体にも栄養チャージできる夏に

※夏季休業中は研修の好機であると同時に、先生方が十分な休息を取り英気を養う時間でもあるべきと。一学期を振り返り、各校それぞれの課題解決に向けた創意工夫ある校内研修に取り組んでいただくこともさることながら、夏季休業中だからこそ可能な、校長先生をはじめ先生方の心身のリフレッシュにも積極的に取り組まれない。

４ おわりに

田中一村記念会 記念講演会（６／２７実施）について

演題：せめぎ合った情熱 ～川端龍子と田中一村の意外な接点～

講師：大田区立龍子記念館副館長 木村 拓也 氏

教 育 長
館 野 委 員

私からの報告は以上でございます。ご質問等ございましたらお願いします。
赤津小学校に行かせていただいた時に、本当に校内の先生方の雰囲気がとても良くて、こういうことだったんだなと繋がった気がしました。

教 育 長

ありがとうございます。今館野委員がおっしゃったことは、教育長報告２（１）学校経営理念の根幹に関わることにについての中、「教職員が互いを認め合う風土や感謝を伝え合うことを大切にし、笑顔で勤務できること。教職員の心のゆとり、自然な笑顔が、児童の学校での安心感や笑顔につながることを意識する」の具現化がしっかりと図られていること、についてですかね。これは校長先生が学校概要説明の際におっしゃった言葉なのですが、まさに先生や児童の様子を見てみると、このことが浸透しているなということが良く分かる学校訪問でございました。他にはいかがでしょうか。

岩 崎 委 員

先程のＡＥＤ使用の件についてなのですが、私どもも毎年消防署の研修を受けておりまして、その際消防署の方からは「とりあえず設定をして、使うかどうかは機械が決めるので安心して使ってください」とおっしゃっていましたので、躊躇せずに使うと良いのかなと思いました。また、確か子どもの年齢によってはパッドが子ども専用のものがあつた気がします。機種によっては大人と同じだったり、子ども専用のものが別に入っていたりしますので、学校の先生方も使い方等を事前に分かっていないといざという時に慌ててしまうかなと思いました。

教 育 長

ありがとうございます。ガイダンスで音声があるので、迷ったら使った方がいいのかなと思いました。

岩 崎 委 員
教 育 長

そうですね。使わなくて良い時は、ＡＥＤが反応しないので大丈夫みたいです。他にはいかがでしょうか。

— なし —

教 育 長

ありがとうございました。次に、日程第３ 議事に入ります。議案第３３号 令

和9年度使用栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の採択について、を議題といたします。本件につきましては、選定委員会委員長より、令和9年度使用栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の選定について、すでに答申がなされております。まず、その内容について、選定委員長よりご報告していただきます。それでは、島田委員長、よろしくお願いいたします。

選 定 委 員 長

〔説明要旨〕

令和9年度に使用する栃木市立小中学校特別支援学級用教科用図書の選定について、一覧のとおり選定した旨説明。

教 育 長

ただ今、ご報告がございました答申を踏まえまして、今回、議案を提出させていただきました。それでは、議案についての説明を、学校教育課 宮堀課長にお願いします。

学校教育課長

〔説明要旨〕

令和9年度に使用する小中学校特別支援学級用教科用図書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定により採択を求める旨説明。

教 育 長

それでは、ご報告がございました、答申に基づき、審議し、採択をしてまいります。なお、会議は原則として公開することになっておりますが、本件の審議後の議決部分については、栃木市教育委員会会議規則第16条ただし書に基づく、秘密会にすることについて、委員の皆さんにお諮りいたします。議決部分について、公開しないことに、賛成の委員は挙手をお願いします。

《全員挙手》

教 育 長

全員、「賛成」でありますので、議案第33号の採決に関する部分は、栃木市教育委員会会議規則第16条ただし書に基づく、秘密会といたします。それでは、小学校及び中学校の特別支援学級用教科用図書について、審議してまいりたいと思います。答申書の別紙1が小学校の特別支援学級用教科用図書の一覧、別紙2が中学校の特別支援学級用教科用図書の一覧となります。選定委員会からの答申を踏まえまして、案として採択一覧表を提出させていただきましたが、これらの特別支援学級用教科用図書を採択することについて、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

大 塚 委 員

小学校教科用図書、国語の「あいうえおことばずかん」を見させていただいて、絵や文字が少し小さいかなと思ったんですが、絵がとても可愛らしいものでした。どの学年で使用するかは先生方が判断されるかと思いますが、とにかく子ども達を惹き付ける絵でとても好感が持てました。また、理科の「学研の頭脳開発 身近な自然と「理科」が好きになるかがくのれんしゅうちょう 新装版」は、「動物のしっぽはどれでしょう」や「シールを貼りましょう」といったものになっており、楽しそうなのですが、少し低学年気味なのかなと感じました。使う子どもによってなのかなと思うんですけど、もう少しレベルが高くて良いのかなと思いました。中学校教科用図書については、地図の「るるぶ 地図でよくわかる世界の国大百科」は情報量がとても多く、見ていてとても楽しいんですけども、どこを見たらいいのか悩むほどの情報量かなと感じました。るるぶということもあり、これを旅行に持って行ったら楽しいし、様々なことが分かるんだろうと思いますが、とにかく情報量が多いので、先生が選びながら授業をしていくのは少し難しいのかなと思いました。ただ、世界の国や文化を勉強するにあたっては分かりやすいかと思います。最後に社会の「わからないをわかるにかえる中学公民改訂版」については、今勉強すべきことが沢山書かれていて、高校生や大人が勉強するときにも使えるような、読んでいて楽しいけれども、少し難しいと感じました。

教 育 長

ありがとうございました。今頂いた意見と重複するものであっても、ご感想でも

西 脇 委 員 結構ですので、ご意見いただければと思います。他にはいかがでしょうか。

教 育 長 中学校教科用図書の社会については、クイズ形式になっていて自分でやってみた
上 野 委 員 んですが、結構難しくて、大人が読んでもすごく勉強になるような本なので、良
いところや必要なところを抜粋して利用すればいいのかなと思いました。それか
ら、同じく中学校の地図については、私自身世界遺産がとても好きなので、多く
載っていてすごく良いと思いました。小学校の国語については、1 つずつ様々な
ことが書いてあり、見やすく、絵もとても綺麗だと思いました。クイズが載って
おり、教科書としてとても使いやすいものではないかなと思います。

選 定 委 員 長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

選 定 委 員 長 選定大変ご苦勞様でございました。特別支援学級用の場合は一般図書からも選ぶ
ということで、今は多様なお子さんがいますので、一番その子達の特性を分かっ
ている学級担任が選べるというのは良いと思いますが、中学校の美術だけ、1 冊
しかなかったかと思います。選択できなくても問題はないのでしょうか。1 冊と
いうのは、あまり適した本がなかったということなのですか。

教 育 長 美術に関しましては、調査員報告の中でも上がってきておりませんでした。実際
には、地区採択小学校や中学校の検定教科書ですとか、通常学級に混ざって授業
を受けている場合が多いので、そちらの教科書を利用していることが多いのかな
というところがございます。美術の一般図書につきましては、新たに加わる図書
がなかったことから、我々選定委員会としても、調査員の報告を受けまして、こ
の内容で選定して良いのではないかという判断になりましたので、新たに加える
図書はありませんでした。

教 育 長 委員長からの発言がありましたとおり、特別支援学級のお子さんも交流学級で音
楽や美術、体育の授業は一緒に受けることが多いということで、おそらく通常学
級の検定教科書等を活用している場合もあるのかなと思います。他にはいかがで
しょうか。

館 野 委 員 大塚委員から各教科用図書についてご意見を伺いましたが、私は小学校の理科の
図書については、色々と網羅されていてとても良い本だという印象を受けました。
また、中学校の地図についても情報量が多いというご意見でしたが、調べ学習を
する際は、通常インターネットを使用するのかなと思いますが、インターネットを
使用しなくても、この本で十分調べ学習ができるので、かえって使いやすいかな
と思いました。

教 育 長 情報量が多いということに関して、メリットとデメリット両方あるということ
ですね。他にはいかがでしょうか。

岩 崎 委 員 昨年も言ったかもしれないのですが、検定済みの教科書、そして一般図書という
本当に沢山の本の中から先生方が、子ども一人ひとりに合った教科書を選んでい
くというその過程がすごく大変だろうなと思います。これだけあっても、どれを
使ってあげると、本人の理解が進む、あるいは興味が深まっていくのかという、
その過程がとても大変かと思うので、現場がこれを上手く活用してもらえ
れば良いなと感じています。

教 育 長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

五十嵐委員 岩崎委員がおっしゃったように、沢山の図書の中から選ぶ作業というのは、本当
に大変かと思うんですけれども、例えば、別の市町ではこんな図書を使っていて、
これはとても良い図書だよ、といった、横の繋がりで得られる情報もあると、選
定をする上でとても良いのかなと思いました。

教 育 長 教科用図書の採択地区は栃木市や小山市、下野市、また、下都賀管内では壬生町
と野木町が合同で採択地区を組んでいます。下都賀管内でも 4 採択地区あります
ので、確かにそういった情報が入ってくると更に良いのかもしれない。

五十嵐委員 負担は多くなっていますが、少しでもより良いものが子ども達に提供できれ

- ばいいなと思います。
- 教 育 長 下都賀管内で、毎年かなりの人数が市町を跨いで異動がありますので、異動することによって、前の採択地区ではこの図書を採用していたという情報は入るかもしれません。他にはいかがでしょうか。
- 館 野 委 員 話がずれてしまうのですが、教科書だけではなくて、特別支援学級に在籍している子ども達の宿題も、子ども一人ひとりに合わせたレベルの問題を、本当に先生方が様々なものを駆使しながら出して下さっていて、その探す作業はとても大変だろうなと思います。そういった先生方の探す作業の負担を少しでも減らせたらいいなと思いました。
- 教 育 長 個に応じた対応というのは、特別支援学級の先生方のご苦労でもあり、醍醐味なのかもしれません。
- 館 野 委 員 宿題を見ると、本当にこの子に合わせたものを出して下さっているんだということが分かるので、先生方の寄り添いに感謝しています。
- 教 育 長 先生方は常日頃から子ども達を良く見ているので、この子にはどういう力を付けさせたい、こんな課題を与えるといいのではないかという、勘が働くのかもしれませんが、よく「教育の原点は、特別支援教育にある」と言われますけれども、まさにそのところかと思います。他にはいかがですか。
- なし —
- 教 育 長 それでは、これから採決に入りますので、傍聴の方はご退席をお願いいたします。なお、採決の結果につきましては、議決終了後、教育委員室にて、発表いたします。
- 《秘密会》
- 教 育 長 ありがとうございます。これをもちまして採決に関する採決を終了いたします。ここで暫時休憩いたします。再開は午前１０時３５分からいたします。なお、この後教育委員室において、私と学校教育課長で、傍聴の方々に採決の結果について報告させていただきます。
- 《１０時２５分休憩》
- 休憩 —
- 《１０時３５分より》
- 教 育 長 それでは、引き続き、議事を再開いたします。協議第７号栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例の制定について、を議題といたします。保健給食課 寺内課長より説明をお願いします。
- 保健給食課長 〔説明要旨〕
- 栃木市立栃木第三小学校給食共同調理場、栃木市立大宮北小学校給食共同調理場及び栃木市立国府北小学校給食共同調理場を廃止し、栃木市東部学校給食センターを設置し、並びに学校給食共同調理場の対象学校を改めるにあたり、所要の改正を行う必要が生じたため、栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正することについて、議会に上程するにあたり協議を求める旨説明。
- 教 育 長 協議第７号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。
- 質問なし —

教 育 長 それでは、協議第7号について、原案にご異議ございませんか。

 — 異議なしの声 —

教 育 長 協議第7号については、異議なきものと認めます。続きまして、議案第34号 令和8年度（令和7年度事業対象）教育委員会点検・評価報告書について、を議題といたします。教育総務課 飯島課長より説明をお願いします。

教育総務課長 〔説明要旨〕

 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検評価委員の意見を踏まえ、教育委員会において点検及び評価を実施した後、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 ただいま、事務局より説明がありましたように、これより教育委員会としての評価を、基本施策ごとに実施していきたいと思います。事務局でまとめた報告書（案）の点検評価委員の意見等を参考にしながら進めていきたいと思います。報告書（案）3ページ下段をご覧ください。教育委員会の評価につきましては、（5）二次評価のとおり、SからDまでの5段階評価となります。Sは計画以上のレベルに達している、Aは順調、Bは概ね順調、Cはやや遅れている、Dは遅れている、以上のとおりです。ここで、SからBの表現について、改めて共通理解を図らせていただきたいと思います。計画どおりに進んでいたらB、それよりややレベルが高ければA、大幅にレベルが高ければSというように捉えていただければと思います。C及びDに関しては、ご覧のとおりです。それでは、報告書（案）11ページ基本施策1の『共生社会を形成する豊かな心の育成』について、教育委員会としての評価を実施いたします。なお、時間の限りもありますので、昨年同様、挙手またはこちらからの指名でご発言頂きます。その後、多数決を持ちまして教育委員会での評価とさせていただきます。では、本施策に対する評価やその理由等をご発言願います。

 点検評価委員の方には、「一人ひとりの子ども達の特性に応じた指導支援がこの事業のおかげでなされているということが分かった」というご意見も頂戴しております。また、「個別指導通級教室指導員としての人格的資質の向上が図られるような研修会を継続してほしい」というご意見もございました。上野委員何かご意見ございますか。

上 野 委 員 非常に重要な内容について、しっかりと個別指導等取り組んでいただいていると思います。自己評価的なアンケートの結果は、徐々に評価が厳しくなっていくという気もいたしますので、しっかりやっっているのではないかなと思います。

教 育 長 概ね順調に進められているのではないかというご意見ですね。他にはいかがでしょうか。

大 塚 委 員 確か令和6年度は、特別な支援が必要な子どもが約980人だったのが、令和7年度は約1035人と、約55人増えていると伺いました。子どもが減っている中で、支援が必要な子どもは増えているということは、大変なことだなと思います。また、これからも増えていく可能性が高いかと思います。その中で、これから通級教室設置校を拡大していく予定だということ。また、点検評価委員の方が、

	「事業が適切に行われている。個別指導通級教室が設置されていることはとてもありがたい」とおっしゃっていたことから、私はとても評価をしています。この事業において、すごく頑張ってもらっているということが、伝わってくると思いました。
教 育 長	ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
館 野 委 員	通級教室が市内に4ヶ所あることは、とても良いことだなと思っています。これは教育委員会での事業ではなく、こども家庭センターの事業になってしまうかと思うんですけれども、今までこども家庭センターの職員の方が学校に来て下さっていた事業が、こども家庭センターに行かないと利用できなくなってしまった点が、保護者の方にとってはとても負担になっているかと思います。今までは利用していたけれども、保護者の送迎が必要となったことで利用できなくなってしまったという声をとても多く聞くので、子ども家庭センターと連携して、センターに行かなくても利用できるようになって欲しいと思いました。
教 育 長	ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
	— 質問なし —
教 育 長	それでは挙手による多数決を行います。S評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— なし —
教 育 長	A評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— なし —
教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— 全員挙手 —
教 育 長	全員「B」ですので、基本施策1の『共生社会を形成する豊かな心の育成』についての評価は「B」といたします。次に、13ページ基本施策2『児童生徒指導の充実』についての評価を行います。本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。
館 野 委 員	教育支援センターが市内に5ヶ所あるということと、校内版支援センターがあるということで、他の市町村と比べてみても、栃木市がとても進んでいて、恵まれているなと思います。また、校内版ということで、なかなか先生方の数が足りていない中でも、一生懸命取り組んでいただいているという印象があり、とても評価したいと思います。
教 育 長	ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
大 塚 委 員	館野委員と同じで、栃木市は様々な面で進んでいるなと思います。ただ、先日行われた都賀でのふれあいトークの際に、「いじめや不登校のことで相談をしたいけれども、スクールソーシャルワーカーの方が少ないので、相談したい時に相談ができない。相談できるのは、数日、数週間後になってしまう。本当はその時に解決したいけれども、できないと不登校になってしまって、解決が難しくなってしまう。」とおっしゃっていた方がいました。スクールソーシャルワーカーの方が本当に不足していて、難しいのは重々承知なんですけれども、もし増やせるのであれば、増えたらいいなという希望が正直あります。
教 育 長	スクールソーシャルワーカー配置事業は、そもそも県の事業でして、各市町への

割り当ての数が決まっています。現状について、学校教育課長説明をお願いします。

学校教育課長 スクールソーシャルワーカーにつきましては、昨年度までは3名でしたが、今年度から県の配置が4名に増えております。それによって担当する学校は少し分散されております。また、市としてスクールソーシャルワーカーを2名配置しておりますので、県と市併せて、できるだけ賄うよう進めている状況です。

大塚委員 計6名ということですか。

学校教育課長 そうです。

大塚委員 ありがとうございます。

教育長 本当はもっと配置した方が学校のニーズには応えられるんでしょうけれども、今のところは6名で回しているという状況です。他にはいかがでしょうか。

— 質問なし —

教育長 それでは採決に入らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教育長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 2名挙手 —

教育長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 5名挙手 —

教育長 それでは「B」が過半数を超えておりますので、「B」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教育長 それでは、基本施策2の『児童生徒指導の充実』についての評価は「B」といたします。次に、17ページ基本施策3『確かな学力と健やかな体の育成』についての評価を行います。本施策に対するご意見ございましたらお願いします。

舘野委員 「とち介の学び」について、先生方がリーフレットを小さなパウチにして持ち歩いていたりとか、とても意識したりしながら、対応をされているということが分かって、とても良いなと思いました。

教育長 ありがとうございます。「とち介の学び」については、随分と浸透してきていて、学校を訪問した際に、先生方がパウチして持ち歩いていたり、教室に貼ってあったりということで、意識をしてもらえているなということを、私も肌で感じております。他にはいかがでしょうか。

大塚委員 ここで質問することも可能ですか。

教育長 大丈夫です。

大塚委員 一度お聞きしたことがあったかと思うんですが、学校給食への有機農産物の提供は全部の学校ではなく、小規模の学校だけだったでしょうか。

保健給食課長 昨年度、農業振興課と調整をいたしまして、試験的に有機米と少量ではありますが有機野菜を学校給食に使用させていただきました。ただ、全部の学校に提供するほどの量までは用意ができないという状況でしたので、今後も農業振興課と調整をしながら、どのような形で使っていけるのかということを検討していきたいと思っております。

大 塚 委 員	いずれは市内の各小中学校に、１、２回程度でも提供できるようになっていきますか。
保健給食課長	そのような形で提供できれば良いなと思うのですが、昨年度は、炊飯の施設が無い学校では有機米を使用できなかったため、自校炊飯を行っている調理場のみのという、限られた学校での提供となりました。
教 育 長	ありがとうございました。ご飯を業者から搬入している学校もありますので、自校炊飯している学校でないと使用できなかったということですね。他にはいかがでしょうか。
舘 野 委 員	希望にはなるのですが、ぜひ栃木農業高校の生徒さんとコラボレーションをする「栃農給食DAY」を、限られた地区だけではなくて、広い範囲で実現していただきたいなと思います。
保健給食課長	栃木農業高校の食材は「栃農給食DAY」だけではなくて、他の調理場であっても、希望を取って、野菜等がある場合には使わせてもらっております。ただ、「栃農給食DAY」として、栃木農業高校の食材をメインで使用した献立を提供するというのは、毎年希望を取り、地域を決めて実施しております。
教 育 長	できるだけ栃木農業高校で育てた農産物を活用していただきたいということですね。事務局の方でも努力してまいりたいと思います。他にいかがでしょうか。
岩 崎 委 員	推進指標だけを見させていただくと、A評価でいこうかなと思うのですが、基本施策が「確かな学力と健やかな体の育成」の評価ということ、そして、主な事業として、「学習指導の充実」、「学力向上事業」とあるので、もう少し成果指標として、何か学力向上に繋がったものが見えてくると、自信を持って、A評価だと言いきやすいので、そういった項目が出てくるとありがたいと感じたところです。全体の評価としては、児童生徒の授業満足度が98.5%と非常に高いということ。ここが何より評価できるところかなと感じました。
教 育 長	学力の向上を数値でどのように表すか、というのはなかなか難しいところもありますが、成果指標との連動ということでご提案いただきました。ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。
西 脇 委 員	学力向上事業の放課後教室について、利用した児童は27%で、利用した児童のアンケートでは、多くの子が「有意義」だと感じているということで、ぜひこれからも続けてほしいなと思いました。また、もう少し多くの子が参加することを望みます。
教 育 長	利用する子ども達の数がもう少し多くなってくるといいかなという意見ですね。ありがとうございます。それでは、採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— なし —
教 育 長	A評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— 2名挙手 —
教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— 5名挙手 —
教 育 長	「B」が多いようですので、「B」を教育委員会の評価にしてもよろしいでしょうか。

— 異議なし —

- 教 育 長 それでは、基本施策3の『確かな学力と健やかな体の育成』についての評価は「B」といたします。次に、20ページ基本施策4『グローバル教育の推進』についての評価を行います。本施策に対するご意見ございましたらお願いします。
- 西 脇 委 員 先日、グローバルアワーを見学させていただきました。生徒達が笑顔でとても楽しそうに過ごしているなと感じました。また、やはり英語を学ぶにはその国の文化やそのバックグラウンドを知る必要があると思うのですが、先生方がすごく一生懸命で、その国のスーパーで売っているスナック菓子まで説明していて、とても楽しく過ごさせていただきました。本当に先生方の努力も素晴らしいなと思いました。もう少し色々な国の方が入ると、また少し違って面白いかなと思います。
- 教 育 長 グローバルアワーは中学校版の方ですね。小学校版のグローバルデーに参加をされた方はいらっしゃいますか。
- 大 塚 委 員 確か昨年から教育委員が入ることができるようになったんですよね。それで私も声をかけていただき、行けるだけ行きたいと思ったので、各学校に行かせていただきました。参加してみて、本当にALTの方々の努力、そしてグローバル教育推進室の方々の努力がすごく伝わってきて、子ども達をこの1日でどこまで楽しませてあげるかという熱意を感じました。そして、ALTの方一人ひとりが、本当に自分というものを持って、子ども達に接している姿を見て、私は本当にこのグローバルデー、そしてグローバルアワーってすごい事業だなと改めて感じました。先日のグローバルアワーの際、ALTの方は毎年1年間での契約で、1年に1回面談を行っているとお聞きしました。いつ自分がどうなるか分からないということは、本当にすごいことだなと思いましたし、沢山応募があるということを知ると、恐らく一人ひとりが向上心を持ってやられているんだろうなと思いました。また、先日のグローバルアワーでは、会場の体育館が、クーラーを付けていても、子ども達の熱気とかで、とても蒸し暑い状況でした。そのような中でも、全力を尽くしたパフォーマンスをされていて、休憩のわずかな合間でも次の準備をしている、その姿勢に私はすごく好感を持ちました。本当に良い事業だなと思いましたし、すごく高い評価をしています。
- 教 育 長 司会の私が言うのも何なんですけど、本当にハートのあるALTの方々と、栃木市の自慢です。人間性が高く、ALTとしての高い質が保たれていると思います。
- 大 塚 委 員 本当に皆さんの心が素晴らしいなと思います。また、そんなALTの方々とまとめるグローバル教育推進室の皆さんの努力も素晴らしいと思います。日本人に気質が似ている方をお願いしているとはいえ、やはり色々な国の方がいらっしゃって、それぞれ個性や思いがあると思うので、そこをまとめていくというのは、とても大変だろうなと思っています。
- 教 育 長 ありがとうございます。グローバルデー、そしてグローバルアワーについて高い評価を頂戴いたしました。事務局に確認したいのですが、グローバル教育プログラムに対する各学校の取り組み状況について教えていただけますか。
- グローバル教育推進室長 令和9年度の完全実施を目指しており、昨年度は各小中学校におけるグローバル教育全体計画の中にグローバル教育プログラムを入れていただき、その全体計画を提出していただいております。昨年度は、私自身学校現場にいたということも

あり、プログラムを作って、とにかくやってみようという学校が一気に増えたという気がいたします。各学校からも、まずはプログラムというものを理解して、やってみようということで、教育委員会事務局の指導主事を要請して校内研修を行ったりだとか、これまでやってきた総合的な学習の時間にプログラムを取り入れたり、そこから波及してそれに関連した社会や理科の教科からプログラムの時数を取り入れたりして、各校がこれまでやってきたプログラムに近いものを上手く利用していただいて、プログラムを作成しようという動きがあり、全体的に教務主任の研修の中等でも意見交換がされているようです。今年はプログラムを作り始めて2年目になりますので、こちらとしては更に実質的なプログラムが進むのではないかと捉えております。

教 育 長

ありがとうございます。各学校で少しずつ、自校化しながら進めようとしているということですね。

グローバル教育推進室長

そうです。

教 育 長

以前は栃木西中学区の学校が研究校として指定されていて、その研究校でやってきたものを基に、各学校で自分の学校の実態に応じたグローバル教育プログラムを作るということで進めております。全く新しいものを作るというよりは、今まで総合的な学習の時間や社会、理科等の特にSDGsの17の目標に関わるような学習でバラバラに実施していたものを教科横断的に、複合的にやってみたり、1年生のときはこれ、2年生ではこれ、ということで系統的行えるようにと目に見える形でプログラムにしたりして、学びの足跡を実感できるようにしているんです。そして現在、各学校でそういったことを実施しているということのようです。他には何かありますか。

上 野 委 員

他の基本施策の推進指標はすごく分かりやすいんですが、この基本施策の推進指標である「グローバル教育プログラムによる学習目標達成率 ※各小中学校からの報告より」は他のものと比べると分かりにくいかなと思いました。学習満足度といったような目標であれば分かりやすいのですが、この指標だと、何の学習目標なのか、そして小中学校から何の報告があるのかということが、質問されたときにどのような意味なのかが分かりにくい。各学校が設定したグローバル教育プログラムの目標についての達成率という捉え方でいいんですか。

グローバル教育推進室長

各学校での自己評価における達成率になります。

教 育 長

評価の基準が少し客観性に欠けるというご意見ですか。

上 野 委 員

そうではなく、一般公開するにあたり説明が分かりにくいのかなと思います。これは何の調査で、何をしようとしているのかという質問が出るのではないかといいことが心配なだけです。

教 育 長

一般の方がこの指標を見た際に、学習目標達成率がどういったものなのか理解できないのではないかなという懸念があるということですね。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

— 意見なし —

教 育 長

それでは、採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「A」ですので、基本施策4の『グローバル教育の推進』についての評価は「A」といたしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 ありがとうございます。次に、22ページ基本施策5『ふるさとを生かした学習の充実』についての評価を行います。重点事業はとちぎ未来アシストネットです。委員の皆様ご承知のとおり、とちぎ未来アシストネット事業についてはいくつかの施策に点在しておりまして、評価の仕方や目標が異なりますので、ご理解いただければと思います。また、参考となりますが、当施策の重点事業における当該年度の目標は、「学校支援ボランティアの参加者のうち地域住民の人数が4,500人」となっておりまして、結果は3,948人です。前年度と比べるとやや少なくなっておりますが、同程度の人数だと言えるかと思います。それでは、本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

舘 野 委 員 アシストネットに関わる方々の高齢化がとても問題になっている中で、役員の方をはじめ、PTAの方々と連携しながら、うまくボランティア活動ができていないかを見ていて感じました。子どもの数が減っているのも、どうしても参加する人の数が減ってしまうのは、しょうがないのかなと思いますし、学校によっては様々な事業の中で、地域コーディネーターと学校コーディネーターの連携をととても密に行っているところもあり、評価できます。

教 育 長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

岩 崎 委 員 基本施策5は「ふるさとを生かした学習の充実学習」ということなので、先程の基本施策4「グローバル教育の推進」と対比するような内容になるかと思います。グローバル教育を推進した結果として、自分達が住んでいる日本や栃木が良いところだなと感じて、そしてそんな自分達の文化を学びたいと思った時に、とちぎ未来アシストネット事業を利用して先輩方に様々なことを聞く。学校の先生方は地元のことを全てを熟知しているわけではないと思うので、そのような流れでうまく子ども達の教育と事業を先生方が結びつけて、地元の方と協力していただくと理想的な繋がりになると思います。なので、基本施策4と5が繋がっていくと、もっと理想的な繋がりになるのではないかと感じました。

教 育 長 ありがとうございます。五十嵐委員はいかがですか。

五十嵐委員 大平地区について言わせていただきますと、毎年小学校6年生を対象に、ふるさと学習として、田村律之助さんについて学ぶ機会がありまして、そこに私も一員として入らせていただいております。子ども達が田村律之助さんを通して、栃木市が二条大麦の生産量日本一を誇るということを知り、ふるさとの誇らしさを感じたり、地域に目を向けるきっかけになったりしてくれているかと思うので、そういった点ですごく充実していると思っています。また、とちぎ未来アシストネット事業では、委員の皆さんがおっしゃられたように、PTAの方々や地域の方々、例えば、田植え事業なら地域の農家といった方々が協力して下さり、学校コーディネーターや地域コーディネーターが本当にお骨折りいただいていることで、この事業も充実したものになっているなと感じています。

教 育 長 ありがとうございます。それでは採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 6名挙手 —

教 育 長 過半数の方が「A」ということで「A」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異義のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは基本施策5の『ふるさとを生かした学習の充実』の教育委員会の評価は「A」といたします。次に24ページ基本施策6『生涯にわたる学びの環境の充実』についての評価を行います。こちらの施策にも、とちぎ未来アシストネット事業が組み込まれております。また、もう1つの重点事業は図書館管理運営委託事業です。その他の項目も含めながら、総合的にご意見いただいても結構です。それでは、本施策に対する評価やその理由等について、ご発言願います。

館 野 委 員 とちぎ未来アシストネット事業では、地域の方々が学校の中に入った連携というものがとても密な一方で、子ども達が地域に出ていく時には、先生方の働き方改革と逆行してしまうところがあり、なかなか難しいところがあるなと感じています。例えば、ブラスバンドが地域の音楽祭に出る時に、先生の引率がないと参加できないけれども、引率ができないためにキャンセルする、という話を聞いたので、そこは部活動の地域展開等の対応をしながら、今後改善するといった期待をしています。また、図書館については各館とても頑張っていると思います。ビブリオバトルを開催すると、いつも定員になるという話も聞いているので、評価したいと思います。

教 育 長 確かに図書館の方で言いますと、「市内図書館利用者数354,000人を目指す」ことを当該年度の目標としておりますが、市内図書館6館合わせた利用者数が357,021人と、前年度と比較しても18,305人増加しているという結果が得られておりますので、おそらく各館様々な工夫をして頑張っているのではないかと思います。

館 野 委 員 都賀図書館が総合支所の中に複合されたにも関わらず、これだけ利用者が伸びているということは、全体的に伸びているのかなと思います。

教 育 長 ありがとうございます。他にはいかがですか。

上 野 委 員 細かいところで申し訳ございませんが、とちぎ未来アシストネット事業の当該年度の目標は「学校支援ボランティア参加者のうち保護者ボランティアの割合が60%」とあるんですけれども、推進指標では、「児童生徒の地域貢献活動・地域ボランティア活動への参加人数」ということで、これは子ども達がボランティア活動へどれだけ参加しているかを指標としているということですよ。

教 育 長 そうです。先程館野委員がおっしゃったように、児童生徒が地域の行事等に参加している人数です。

上 野 委 員 そうですよ。そうすると、当該年度の目標と推進指標のどちらが重要なのか、少し混乱するなと思いました。

教 育 長 どちらに重きを置くのかということですね。生涯学習課長お願いいたします。

生涯学習課長	当該年度の目標は、先程館野委員がおっしゃっていた通り、学校支援ボランティアの後継者の問題もありまして、まずは保護者の方にボランティアに参加していただき、そこから地域ボランティアに定着していただきたいという思いがあります。そこで、当該年度の目標については、そこに焦点を当てたところなんです。なので、推進指標とは若干矛盾しているところもございますが、これから当事業を続けていくために、この当該年度の目標を設定させていただいたところです。
上 野 委 員	ありがとうございます。そこは重々承知しているところですが、単に一般の方に公表した時に指摘されてしまうと恥ずかしいかなと思いました。最終的に推進指標を目指しているのであれば、当該年度の目標を保護者ボランティアの割合ではなくて、推進指標である児童生徒の参加人数にしておいた方が良いのではないかなと思います。
教育総務課長	先程から推進指標が話題に出ておりますが、こちらは本市の総合計画にある指標を転記しております。そのため、若干その事業との整合性が取れていないような部分がありますが、こちらの推進指標につきましては、市の総合計画で定められている令和9年度の目標値となっております。
教 育 長	ありがとうございます。それでは、現在、次期計画を作成する準備に入っているところですので、次期計画では齟齬が出ないよう、総合計画や教育計画での指標と、当該年度の目標が連動するようなかたちで考えていきましょう。とりあえず、今回の当該年度の目標としては、保護者ボランティアの割合に設定したということですね。
生涯学習課長	そうです。
教 育 長	分かりました。他にはいかがでしょうか。
大 塚 委 員	図書館は本当に全館に工夫がされているなと思います。子ども達をはじめとした利用者の方の目に付くような工夫や、この本を借りてみたいと思わせるような工夫がされていて素晴らしいなと思います。また、全ての小中学校に図書館指導員がいらっしゃるという点も評価できるなと思っていて、他市よりも図書館の利用者が多いという話も聞きましたので、そういった努力が繋がった成果だと思います。1点お聞きしたいことがありまして、都賀図書館には貯蔵している本があると思うんですが、それをもう少し出していただくことは難しいですか。結構隙間が空いているように感じますので。貯蔵されている本を借りたいとお伝えすると、取りに行っても下さるんですが、借りられるのが何日か後になってしまっていて、借りたい時に借りられなかったりするの、とても気になっているので、その点について伺えればと思います。
生涯学習課長	現在、都賀図書館には約55,000冊所蔵しており、その内、約25,000冊が図書館に出ている状態です。なので、約30,000冊が閉架図書にあり、利用者の皆様からのリクエストがあると、閉架図書からお持ちするというかたちをとっているところです。毎年新しい本が約2,600冊ずつ増えておりますので、あまり古い本ばかり出してしまうと、新しい本を置く場所が無くなってしまいうということもあり、図書館の方でもその辺りを考えあぐねているところです。例えば、「ガーデニング関係の本をもっと充実させてほしい」というお話があれば、閉架図書から関係のある本を多めに持ってきて並べるといった対応をしてお

りますので、ぜひリクエストをしていただけるとありがたいと思います。

教 育 長 ありがとうございます。それでは採決に移らせていただきます。S評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 3名挙手 —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 4名挙手 —

教 育 長 過半数が「B」ですので、基本施策6の『生涯にわたる学びの環境の充実』についての評価は「B」といたします。次に、27ページ基本施策7『生涯にわたる学びの機会の充実』についての評価を行います。重点事業は、栃木市民大学事業や家庭教育学級開設事業、科学する心を育む推進事業でございます。本施策に対するご意見ございましたらお願いします。

館 野 委 員 公民館の講座について、本当に各公民館が工夫を凝らした講座を提供して下さっていると思います。開講時間についても、若い世代の人は昼間参加しにくいので、夜に開催したり、昼間に高齢の方が参加しやすいような講座を設けたり、と工夫して下さっています。なかなか参加者が伸びないということも聞いているんですが、とても楽しい講座が多いですし、参加してみると、普段会わない人と会うことができたり、地域を越えた交流ができたりするので、そのまま続けてほしいなと思います。ただ、参加者が伸びなくて大変なご苦勞をされているなということも感じています。

教 育 長 良い講座をやっているのに、参加者が増えなくて残念だというご意見ですね。他にいかがでしょうか。

五十嵐委員 学校での覚醒剤や薬に関する薬物乱用防止教室について、質問があります。私も何度か参加させてもらったことがあるんですが、警察の広報担当の方等が学校に来て、お話をして下さるもので、小学校は6年生を対象として実施したかと思うんですが、こういった教室は中学校でも行っていますか。昨日栃木市のニュースが出たところもあるので、もし実施していないようでしたら、実施した方がいいのではないかと思います。

グローバル教育推進室長 昨年度まで中学校におりましたので、状況をお伝えさせていただきます。中学校でも盛んに行っておりまして、場合によっては年に2回、学年も混ぜながら実施しているところです。また、警察の方だけではなくて、様々なところで薬物乱用に関する講座は申し込み口がありますので、養護教諭を通して、学校ごと申し込みをしています。

教 育 長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

— 意見なし —

教 育 長 それでは採決に移らせていただきます。基本施策7『生涯にわたる学びの機会の充実』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。 — 全員挙手 —
教 育 長	全員「B」ですので、基本施策7の『生涯にわたる学びの機会の充実』についての評価は「B」といたします。次に、31ページ基本施策8『文化芸術活動の推進』についての評価を行います。時間の都合上、重点事業は1つずつ申し上げませんが、資料をご覧くださいながらご意見いただければと思います。
館 野 委 員	去年は喜多川歌麿に関する企画展があり、美術館の来場者がすごく伸びたかと思います。また、以前開催されたアルフォンス・ミュシャの展示も来場者が多かったと記憶しております。様々な企画展を考えて下さっている点について、とても評価しています。
教 育 長 大 塚 委 員 美術・文学館課長	ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。 学芸員の方は今何人いらっしゃるのでしょうか。 学芸員の数につきましては、美術館関係が3名、文学館関係が1名という状況です。自治体の規模、そして美術館の規模から見ますと、現状の学芸員の数では少し不足しているという認識をしております。
教 育 長 大 塚 委 員	できればもう少し増えるといいのかなというのが正直なところかと思います。 ありがとうございます。あと、これは今後の話になってしまうので、関係なくなってしまうのですが、もう1点質問よろしいですか。栃木文化会館の改修工事が行われるにあたり、文化会館で開催されるような行事やイベントについては、他の地域の文化会館等に振り分けるということですか。
文 化 課 長	休館にあたりましては、2年前から利用団体の声を直接聞かせていただき、時には個別相談会などを開催し、代替の活動場所を確保することに、本市としても協力をさせていただいてきたところです。その結果、ご相談いただいた全団体の新しい活動場所については、全て確保できました。なお、行事等につきましても、栃木には他に文化会館が3箇所ございますので、そちらに分散いたします。また、指定管理者にて行っております自主事業についても、やはり分散して、大平、藤岡、岩舟の文化会館にて、これまで通り開設するということで組み直しております。
教 育 長	ありがとうございました。それでは採決に移らせていただきます。基本施策8『文化芸術活動の推進』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。 — なし —
教 育 長	A評価だと思われる方挙手をお願いします。 — なし —
教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。 — 6名挙手 —
教 育 長	過半数が「B」ですので、基本施策8の『文化芸術活動の推進』についての評価は「B」といたします。次に、37ページ基本施策9『歴史文化の保存及び活用』についての評価を行います。重点事業は、ふるさとの城郭群再発見事業、文化財保存活用地域計画策定事業でございます。1つ目については、西方城跡が国指定史跡になったことに関して、ということによろしいかと思いますが、皆様からのご意見をいただければと思います。

館 野 委 員	様々な手続きや、やり取り等とてもご苦労され、その結果西方城跡が国指定史跡となったこと、すごく感動しています。このことに基づいて、これから子ども達が西方城についてもっと深く知っていったり、地域が盛り上がっていったりと良いなと思っています。また、推進指標の達成度だけを見てしまうと、低い数字となっており、どう評価したらいいのか悩みますが、この新規文化財指定件数の1件の重みがとても大きいものだと思っています。
教 育 長 館 野 委 員	これから広がっていくことに期待していききたいと思います。他にいかがですか。文化財保存活用地域計画を昨年作成していたかと思うんですが、有形文化財だけではなく地域の行事等まで、とても多くの文化財が載っていましたが、それは来年評価する令和8年度としての成果になるということですか。
教 育 長	文化財保存活用地域計画については、昨年は編集作業に取り組んでいたということですね。
文 化 課 長	文化財保存活用地域計画につきましては、足かけ3年策定を続けてまいりました。昨年はまるまる1年間策定作業でして、地域計画協議会の開催や庁内ワーキング等での議論を行い、昨年度中にほとんど計画を取りまとめたという状況です。今年度は正式な策定作業や国認定の手続きを行いました。
館 野 委 員	あれほど多くの文化財がある中で、この推進指標の目標値に対する達成度がすごく低いので、そこがリンクしないのが残念だなと思います。
教 育 長 文 化 課 長	推進指標は「新規文化財指定（登録）件数」ですね。 令和6年度の実績1件が西方城跡でございます。いくつか文化財指定の話が来ているものもあるんですが、現時点では指定に至っているもの、申請が上がっているものもないということで、実績値としては1件となっております。数年以内にはいくつか出てくると思うんですが、今はこういった流れの時期かなと思います。
館 野 委 員	令和9年度の目標値が3件とあるので、何か理由があって3件にしたのかと思ったんですけども、現状は新たに増えるかどうか分からないということですか。
教 育 次 長	この推進指標でいうと、令和7年度実績が0件であるならば、目標値に対する達成度は0%になるのではないのですか。
文 化 課 長	この推進指標に記載している令和7年度実績については、0件とありますが、1件の誤りかもしれません。令和7年度に登録した文化財は0件ですが、一度登録された文化財は消えませんので、累計でみると1件となります。また、この目標値は1年間に3件登録されるということではなく、累計して令和9年度時点で3件になるという意味合いでございます。そのため、1件登録されているので達成度としては33.3%となっております。
教 育 次 長 文 化 課 長	推進指標の表記が間違っているということですね。 はい。単年の実績というより累計で記載すべきところでしたので、1件となります。下段の伝統的建造物修理等件数を見ていただきますと、累計となっており、実績値が伸びているかと思います。したがって、文化財指定件数についても、令和7年度単体では0件ですが、累計表記となりますので、正しくは1件となります。
教 育 長	分かりました。それでは1件ということをお願いいたします。それでは採決に移

らせていただきます。基本施策9『歴史文化の保存及び活用』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「B」ですので、基本施策9の『歴史文化の保存及び活用』についての評価は「B」といたします。次に、40ページ基本施策10『学校・地域における教育環境の整備』についての評価を行います。重点事業は、とちぎ未来アシストネットやコミュニティ・スクール、小・中学校就学援助事業、学校現場における業務の適正化事業等でございます。教育環境の整備というと範囲が広く、人的なものや施設設備、教育支援事業も含みますが、何かご意見ありますでしょうか。

上 野 委 員 なぜこんなに学校運営協議会の達成度は低いのですか。

教 育 長 学校運営協議会立案企画の実施校の割合の目標値に対する達成度が44.2%ということですね。

上 野 委 員 会議は行っていますよね。

学校教育課長 会議自体は各校平均して3.14回行っております。ただ、こちらの指標にあるような学校運営協議会を基に企画発案したものについては、31%と下がってきているという現状でございます。

教 育 長 ありがとうございます。他に何かご意見ございますか。

ちなみに、本施策でのとちぎ未来アシストネット事業の当該年度の目標は、各小中学校の地域コーディネーターの総数が75名ということで設定されています。去年は全部で42校ございましたので、多くの学校で地域コーディネーターを複数配置しているということになります。

館 野 委 員 とちぎ未来アシストネット事業の中で、ボランティア交流会が毎年行われているかと思うんですが、そこでは、参加されているPTAや学校運営協議会等の様々な方と交流ができますし、地域の課題を見つけたり、地域を越えて課題を話し合ったりと、とても良い取り組みだなと思っています。参加される方が少ないかもしれませんが、内容がとても充実しているので、ぜひ今後も続けていただきたいと思っています。

教 育 長 ありがとうございます。ボランティア交流会は毎年参加させていただいておりますが、年々協議の質が高まっていると感じます。参加されている皆さんが、各地域で行われている良い取組を吸収しようという姿勢ですので、すごく効果的なボランティア交流会になっていると思います。他にはいかがでしょうか。

— 意見なし —

教 育 長 それでは採決に移させていただきます。基本施策10『学校・地域における教育環境の整備』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 A評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

- 教 育 長 B評価だと思われる方挙手をお願いします。
- 全員挙手 —
- 教 育 長 全員「B」ですので、基本施策10の『学校・地域における教育環境の整備』についての評価は「B」といたします。次に、49ページ基本施策11『教職員の資質・能力の向上』についての評価を行います。重点事業は、学校訪問指導事業と教育研究所運営事業でございます。何かご質問ご意見ございましたらお願いいたします。
- 私の方から1つ意見を申し上げますと、教育研究所が主催している教育研究発表会が、年に1回開催されるんですけども、5年ほど前から、コロナ禍ということもあり、オンデマンド形式に変えました。そうしましたら、オンデマンド形式であれば、同じ画像を見たい時に何度でも見られますし、今までの対面形式ではグループに分かれていたので、Aグループが見たいけれども、Bグループに入ったので、Aグループが見られないということもあったんですが、見たいものを見たい時に何度でも見られるということで、とても視聴人数が増えています。返って対面形式ではなく、オンデマンド形式にして良かったのかなと、ここ数年思っているところです。他に何かありますでしょうか。
- 大 塚 委 員 私も研究発表を見させていただいて、教育長が今おっしゃったように、オンデマンド形式で本当に見やすくなった、グループが選択しやすくなったと思っています。各先生の頑張っている姿を見て、伝えたい気持ちというのがすごく伝わってきます。発表は数分間なんですけど、とても勉強されていて、学校業務が大変な中で、更にこれを自分で撮影して、編集もしていると思うとすごいなと思います。この点検評価委員の意見の欄に書いているように、本当に保護者や地域の人、色々な方に見ていただけたらいいなと感じる研究発表でした。
- 教 育 長 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
- 五十嵐委員 教育委員会だよりの「絆」にも書かせていただきましたが、先日、栃木市教育研究会主催の希望研修会に参加いたしました。各グループに分かれて研修会が行われるのですが、管理職の先生や若い先生が同じ議題に対して一緒に話し合っていて、本当に素晴らしい研修会だと思いました。ですので、先生方とても忙しいのは分かるんですけども、できればもっと多くの先生方に参加していただきたいなと思いました。
- 教 育 長 ありがとうございます。昨年度から開始時刻が少し早くなったんですね。
- 学校教育課長 昨年度までは18時半開始、20時終了でしたが、それを30分ないし1時間前倒しをいたしまして、17時半開始、19時終了ですとか、18時開始、19時半終了に少し変えさせていただきました。また、研修の中身についても、できるだけ現場の先生方のニーズに応じられるように、また、先生方への周知についても色々と工夫をしております。ただ、勤務時間外となりますので強制はできないのですが、学びたいという気持ちが増えるような内容を検討していきたいと考えております。
- 教 育 長 ありがとうございます。それでは採決に移らせていただきます。基本施策11『教職員の資質・能力の向上』についてS評価だと思われる方挙手をお願いします。

	— なし —
教 育 長	A評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— 4名挙手 —
教 育 長	B評価だと思われる方挙手をお願いします。
	— 2名挙手 —
教 育 長	過半数が「A」ですので、基本施策11の『教職員の資質・能力の向上』についての評価は「A」といたします。最後に、52ページ基本施策12『学校施設・設備の整備』についての評価を行います。重点事業が7つございます。学校施設・設備の充実ということで、小中学校の屋内運動場やLED照明器具等の整備について、そして（仮称）栃木東地域学校給食センター整備事業となっております。どちらかというとハード面での整備となりますが、何かご意見等がありましたらお願いいたします。
館 野 委 員	中学校屋内運動場の空調整備ということで、中学校の体育館にエアコンが入ったことで、子ども達はもちろん、地域の方が使用する際も、熱中症対策ができてとてもありがたいなと思っております。今後は小学校の体育館にも整備が進むかと思うので、学校数が多いので大変だとは思いますが、できるだけ早く全校設置していただきたいです。
教 育 長	中学校と小学校では少し整備の手法が異なるんですね。その点について説明をお願いしますか。
学校施設課長	中学校屋内運動場につきましては、市民の方等からのご意見もあり、緊急的に空調設備を整備したため、リースにおける賃貸借により、1ヶ年で中学校11校の屋内運動場に整備をさせていただきました。続いて小学校につきましては、全部で29校の屋内運動場がございますが、リース料が少し割高になりますので、市の財源を有効に活用していくという趣旨から、国の補助金を使いまして、全校を3つのグループに分けて、3ヶ年から5ヶ年かけて整備をしていく計画になっております。現在は第1グループ、11校分の設計業務に着手しているところです。
教 育 長	数年かかりますが、段階的に整備をするということになっております。また、推進指標の「小中学校証明LED整備率」は令和6年度実績までは低かったんですが、令和7年度実績値は95%と高くなっていますね。
学校施設課長	推進指標にあります小中学校証明LED整備率については、校舎と屋内運動場で分かれておりますが、こちらはどちらも昨年度にリースにより一気に整備を実施いたしました。過去の実績を見てみても、徐々に10%ぐらいずつ整備率を上げていく計画でしたが、事情によりリースにて一気に整備をさせていただいて、95%の整備率となりました。
館 野 委 員	一気に全部終わらせたのに、整備率が95%となっていますが、残りの5%はなぜ残っているんですか。
学校施設課長	こちらにつきましては、3つの中学校が栃木北中学校へ統合になったことにより、寺尾中学校及び皆川中学校については整備を行いませんでしたので、その部分での5%となります。
教 育 長	実質は100%ということですね。他にいかがでしょうか。
	— 質問なし —

教 育 長 それでは採決に移らせていただきます。基本施策１２『学校施設・設備の整備』についてＳ評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 Ａ評価だと思われる方挙手をお願いします。

— なし —

教 育 長 Ｂ評価だと思われる方挙手をお願いします。

— 全員挙手 —

教 育 長 全員「Ｂ」ですので、「Ｂ」を教育委員会の評価にしたいと思いますが、異議のある方はいらっしゃいますか。

— 異議なし —

教 育 長 それでは、基本施策１２『学校施設・設備の整備』についての評価は「Ｂ」といたします。以上で、基本施策ごとの評価を終了いたします。基本施策１の評価は「Ｂ」、基本施策２の評価は「Ｂ」、基本施策３の評価は「Ｂ」、基本施策４の評価は「Ａ」、基本施策５の評価は「Ａ」、基本施策６の評価は「Ｂ」、基本施策７の評価は「Ｂ」、基本施策８の評価は「Ｂ」、基本施策９の評価は「Ｂ」、基本施策１０の評価は「Ｂ」、基本施策１１の評価は「Ａ」、基本施策１２の評価は「Ｂ」となりました。以上で、基本施策ごとの評価が終了しましたけれども、全体を通してご意見等ございましたらお願いします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、議案第３４号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なし —

教 育 長 異議なきものと認め、議案第３４号について、可決いたします。ここで、これ以降の議題がない各課長につきましては退席となります。

《課長退席》

教 育 長 続きまして、議案第３５号 栃木市立小中学校適正配置計画の策定について、を議題といたします。学校再編推進室 岩崎室長より、説明願います。

学校再編推進室長 〔説明要旨〕

全国的な少子化傾向により、多くの小中学校で小規模化が進む中、一定の学校規模の確保が課題になっている。市全体として将来を見据えた具体的構想を示すため、平成３１年１月に栃木市立小中学校適正配置基本構想を策定したが、児童生徒の減少が想定を上回る速さで進行していることから、学校適正配置を推進するために取り組むべき事項等を定める栃木市立小中学校適正配置計画を策定することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長 議案第３５号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。児童生徒の数が予想に反して、非常に速いスピードで減少しているということで今回提案させていただいたという運びになります。

岩 崎 委 員 今までもこういったものは、だいたい２０年後を見据えていくような計画をしてきたものなのかということが１点。また、今回の見直しにあたり、今後小学校に入学していく予定の０歳から５歳の子どもの数は、はっきりと分かっているかと思うんですが、残りの８年間については、現状と同程度の動きで推移していくと

考えていくのか、それとも現状よりも、更に減少が進んでいくと考えていくのか。そこによって、今後の見通しも変わると思いますので、しっかりと詰めた上で策定していただければと思います。

学校再編推進室長

元々この適正配置につきましては、平成31年に基本構想を策定しておりまして、20年後である2040年を見据えた計画となっております。当初の想定では、児童生徒数が2030年度時点で10,226人であると推計しておりましたが、現状にあわせると、2030年度末時点で8,632人になるということで、当初推計値よりも15.6%ほど低くなっております。今後新たに策定いたします計画につきましては、こちらから更に国の方で示している国立社会保障・人口問題研究所の調査における減少率などと合わせまして、計画の方は実態に即したものを作成してまいりたいと思っております。

教 育 長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

それでは、議案第35号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なし —

教 育 長

異議なきものと認め、議案第35号について、可決いたします。続きまして、議案第36号 栃木市立学校職員服務規程の一部を改正する規程の制定について、を議題といたします。学校教育課 宮堀課長より、説明願います。

学校教育課長

〔説明要旨〕

学校職員が氏名、本籍、住所、学歴、免許及び資格に異動があったとき等に届け出る履歴事項異動（訂正）届について、届出手続きの簡素化により、学歴、免許及び資格に係る届出並びに同届への証明資料の添付が不要となったことから、履歴事項の異動等に係る届出手続を改めるに当たり、栃木市立学校職員服務規程の一部を改正する規程の制定について、議決を求める旨説明。

教 育 長

議案第36号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

岩 崎 委 員

今回の改正は、市長部局と同じ並びで行うものなのかどうかということが1点。また、例えば住所を変更した時には、一般的に住民票の写しを添付すると思うんですが、それが今回省略されるというのは、性善説に立って、本人からの申し出を信用するという事で添付を省略することなのか、教えていただければと思います。

学校教育課長

先生方の住所等に係る変更届は、市を通して県に提出しておりますので、県の規程に合わせて、今回市の規程を改正させていただきました。

教 育 長

特に市長部局とは関係ないということですね。

学校教育課長

はい。

教 育 長

ありがとうございます。他にはいかがですか。

— 質問なし —

教 育 長

それでは、議案第36号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長

異議なきものと認め、議案第36号について、可決いたします。続きまして、議

案第３７号 栃木市文化財保護審議会委員の委嘱について、を議題といたします。
文化課 横倉課長より、説明願います。

文 化 課 長

〔説明要旨〕

栃木市文化財保護審議会委員の任期満了に伴い、新たな委員を委嘱することについて、議決を求める旨説明。

教 育 長

議案第３７号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長

それでは、議案第３７号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —

教 育 長

異議なきものと認め、議案第３７号について、可決いたします。次に、日程第４その他 に入ります。令和８年度教育振興大会について、教育総務課 飯島課長より説明をお願いします。

教育総務課長

— 令和８年度教育振興大会について説明 —

教 育 長

本件について、委員の皆さまから、ご質問等ありましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長

もし何かございましたら、事務局までご連絡いただければと思います。次に、教育委員会だより「絆」について、教育総務課 楢本主幹より説明をお願いします。

教育総務課主幹

— 教育委員会だより「絆」の原稿確認及び学校訪問の日程について説明 —

教 育 長

続きまして、栃木市文化財保存活用地域計画について、文化課 横倉課長より報告がございます。

文 化 課 長

— 栃木市文化財保存活用地域計画の認定について報告 —

教 育 長

ありがとうございました。次に、事務局より何かございますか。

学校教育課長

— 令和８年度あったかとしぎいじめ防止子どもフォーラムについて説明 —

教 育 長

ありがとうございました。他に何かございますか。

事 務 局

— なし —

教 育 長

ありがとうございました。以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。他に、委員の皆様から何かございますか。

— なし —

教 育 長

これをもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

—— 午後０時２３分 委員会の閉会を宣言した。 ——

令和８年７月２２日

教 育 長

署名委員